

展覧会特集

～一人一人の個性を生かし光り輝く展覧会にしよう！～

11月13日（木）～15日（土）に展覧会が開催されました。14、15日には、たくさんの保護者、地域の皆様にご来校いただき、子供たちの感性が輝く作品を鑑賞していただくことができました。

また、子供たちは児童鑑賞日に、学年やたてわり班でペアを組んで友達の作品をじっくり鑑賞しました。それぞれの作品に込められた思いや表現の意図、特長、表し方などについて、感じ取ったり考えたりしている姿が見られました。展覧会を通して、多様な見方、考え方、感じ方に触れて学んだことを、日々の学習や生活に生かしてほしいと思います。



学年での鑑賞では、他学年の作品をじっくりと鑑賞しました。「これやったことあるよ！」「今度つくってみたいな！」など、懐かしく思ったり、今後の制作への意欲を高めたりしていました。



たてわり班鑑賞では、ペアになって、お互いの作品を紹介したり、作品の感想を伝え合ったりしました。作者の、作品に込められた思いを感じることができました。上学年は、下学年のお友達に優しく接する姿が見られました。

【子どもたちのふりかえりより】

- ・体育館に入ったとき、いろんな学年の作品が目に入って、輝いているように感じた。
- ・(2年生のお弁当の作品で) 米を表現するにあたって、粘土を使ったり、わたを使ってつくったりしていて、同じものを表現しようとしているのに、つくり方が違うのがよかった。
- ・(1年生の「おかしの家」を見て) お菓子にもたくさんの種類があって、ヘンデルとグレーテルの世界に入った気分になった。
- ・(5年生の「月夜の晩に…」を見て) みんな同じ黒を使っているけれど、一人一人薄さや濃さが違うので、違いが楽しめました。

子どもたちは、それぞれの見方や感じ方で、一人一人の作品のよさや面白さを味わっていました。



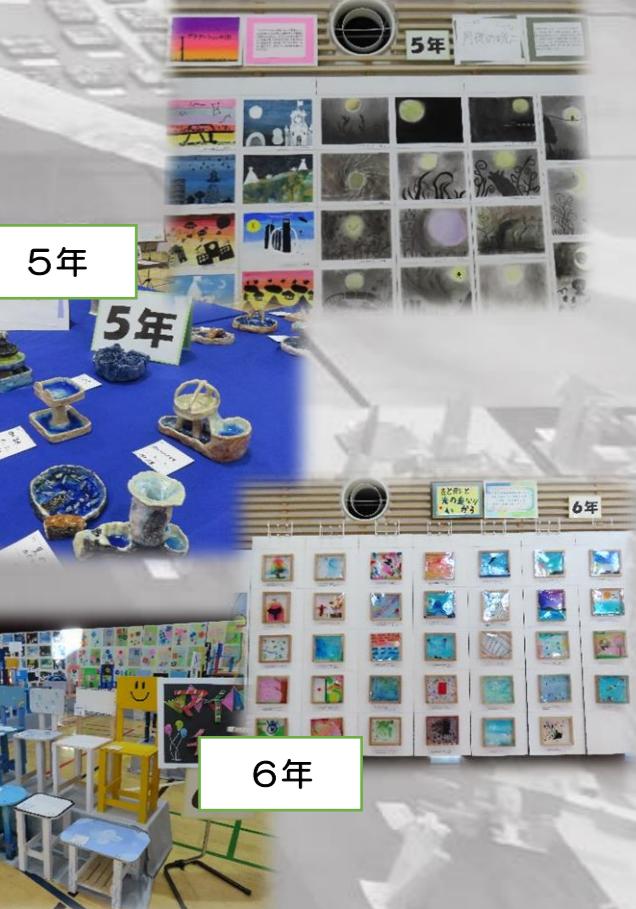
1年



2年



4年



5年



あおぞら

家庭科

6年